



第6 5 代理事長 田財 千裕

### 【はじめに】

現在の日本は経済の発展に伴い、自由に自分らしく暮らすことができるようになった反面、多様化してしまった価値観に的確迅速に対応していくことが求められる時代となりました。あらゆる組織での活動は、合理性を追求するためにマニュアル化され、ルールに基づく行動が重視される一方、自発や自責という概念が軽んじられるようになったと感じます。また、急速な情報技術の発達に伴い、各々の権利・主張が今まで以上に発信されるようになり、団体活動においてはハラスメントという言葉が横行し、人々はバッシングを恐れ当り障りのない行動に注力し、自分の信念に沿った行動さえも躊躇し、現状維持を最良とする社会傾向にあると感じます。

私達が所属する青年会議所ではどうでしょうか。「明るい豊かな社会の実現」という基本理念に向け、実直に行動することができていると胸を張って言えるのでしょうか。先輩方から受け継いだ過去の実績に甘え、成功事例を模倣することが正解だと思ひ込んでしまい、信念をもって自らの意志で行動を興し、チャレンジすることを忘れてはいないでしょうか。

こんな時代だからこそ、責任世代である我々メンバーは、失敗を恐れず積極的に挑戦していくことが必要不可欠なはずで、輝かしい実績を残された先輩方のように、不変の理念を胸に宿し、周囲に惑わされることなく「誰のために何ができるか」のただ一点を想い、行動という形の確かな一歩を皆で踏み出していこうではありませんか。今こそ、これまで築き上げてこられた歴史に誇りをもち、我々自身が地域のリーダーとして何ができるかを考え、目指すべき理想を具現化し、実現するための決意をもって一心不乱に突き進むべきなのです。そして、そのような実直な姿勢こそが、このまちに住み暮らす人々の意識変革を促し、輝かしい未来へと導いていくことに繋がると信じ、確かな一歩を踏み出してみたいです。

### 【行動できる人材の育成】

我々が青年会議所への入会を決めたとき、何を願っていたでしょうか。小さな社会に満足することなく、新たなフィールドに出ることで、そこでしか得られない経験を通じ、視野を広げ自己を成長させることを望んでいなかったでしょうか。しかし、組織での経験を重ね環境に慣れていく中で、物事を実現する苦難や費やす時間などの負担の部分にばかり目を奪われてしまい、自己の成長機会を軽んじ初心から離れてしまっていないでしょうか。変化や新たな取り組みを恐れてはなりません。新たな経験と成長を得るためには、これまでは無かった負担が発生するのは当然のことなのです。恐れや不安に怯むことなく常に前向きに物事を捉え、できない理由の捻出に時間を浪費するのではなく、先ず行動を興すことに注力することこそが、活動期間に限りのある今の我々に必要なことなのです。

そのためには、物事には明暗の二面性があることを理解し、明るい部分を捉えることで前向きな意識の変化を興すとともに、失敗を恐れ思案に暮れることなく、先ず行動を興しその結果から学ぶことの重要性を理解することで、たとえ困難に直面してもそれを自身の成長の機会と捉え、挑戦することのできる人材へと成長してまいります。

我々が、常に先陣を切って前向きな行動を興す人材となることで、同世代からの共感を得られ、延いては周囲を牽引するリーダーとしてこのまちの未来を切り拓いてまいります。

### 【生き抜く力をもった子ども達の育成】

私が幼少の頃は、かくれんぼや鬼ごっこ、木登りや基地作りといった遊びが日常で、少々危険は顧みず、ルールやゴールを仲間と共に考え、誰に何を言われるでもなく自分達で納得しながら遊んでいました。その中で疑問に思ったことを自ら考え解決する喜びや楽しさを実感し、また時には友人とぶつかり合ったり、仲直りを繰り返しながら、社会で生きていくために必要な知恵や知識を、自然と身に付けることができたと感じます。しかし、今の子ども達は、外で遊ぶ時間や遊び方、友人関係までも大人から与えられた制限で拘束され、自らで考える力を育む機会が減ってしまっている様に感じます。この現状のままで、今後も起り続けるであろう社会変化に打ち勝ち、行動することのできる大人へと成長していくことができるでしょうか。私たち責任世代である大人が、何事においても自分で考え解決することのできる子どもへと育成していくことが、今の時代に最も必要なことだと考えます。

そのためには、普段の生活では味わえない実体験を通じて、どんな困難にも立ち向かえる柔軟な発想力と、困難に直面したときに、たとえ一人ではできなくても仲間と共に協力しながら、最後まで逃げることなくやり遂げる行動力を養うことで、「生き抜く力」を持った大人へと導いてまいります。

我々が、子どもたちに「生き抜く力」を育み、今後の縮小均衡社会にも負けることの無い、たくましい大人へと導くことで、活力あるまちの創造へと繋げてまいります。

### 【むすびに】

青年会議所は、40歳という限られた時間の中でしか活動することができません。そんな制限がある中で、過去を模倣することや世間体を気にすることが、本当に必要でしょうか。先輩方は、白く濁った土岐川を綺麗な川へと変えてくださいました。当時の時代背景からすると、地場産業は繁栄しその代償が白い土岐川であり、世間からは否定的な声もある中で、「誰のために何ができるか」のみを追求し、勇氣ある一歩を踏み出されたからこそ、子ども達が土岐川で遊ぶことができる今日に繋がりと、今尚語られる功績となっているのです。青年会議所運動とは、「明るい豊かな社会の実現」に向けてその時代に応じた行動を興していくという、至極シンプルなことだと私は思います。そこには、マニュアルも合理性も必要なく、明るい未来を信じ失敗を恐れず行動を興してこそ、社会に一石を投じることができるのだと思います。そして、そんな活動の中で芽生えた友情こそが、生涯の宝物となる友であり、同じ苦難を乗り越えたメンバーが存在し続けることが、多治見青年会議所の今後も変わらぬ力強い運動発信に繋がるのです。

平成も終わり、新しい元号に代わる節目である本年。我々多治見青年会議所が、今後も地域から、さらには時代から求められる組織であり続けられるよう、組織内の議論に傾注するのではなく、愛するこのまちに何ができるのか、そして、周囲の人々にポジティブチェンジの火種を与えることのみを追求し、限られた時間を大切に、チャレンジ精神をもって行動という確かな一歩を皆で踏み出してみたいです。

執行部紹介



副理事長 原 正嗣

新年あけましておめでとうございます。副理事長を務めさせていただきます原正嗣と申します。総務・渉外委員会の担当副理事長としてメンバー間の結束を固め、全員で本年度の方向性を共有し、組織力を向上させてまいります。精一杯務めさせていただきますので、1年間どうぞよろしくお願いたします。



副理事長 虎山 宗哲

新年あけましておめでとうございます。本年度も副理事長を務めさせていただきます虎山宗哲と申します。挑戦する人材育成委員会では、このまちのために行動を興し、周囲の人々を牽引するリーダーとして未来を切り開いていくために、何事にも怯むことなく困難にも立ち向かい挑戦できる人材を育てまいります。担当副理事長として精一杯務めさせていただきますので、1年間どうぞよろしくお願いたします。



副理事長 大嶽 秀暢

新年あけましておめでとうございます。副理事長を務めさせていただきます大嶽秀暢と申します。生き抜く力育成委員会では、子どもたちにどんな困難にも立ち向かえる柔軟な発想力と、最後までやり遂げる行動力を養うことで、今後の縮小均衡社会にも負けることのない、たくましい大人へと導いてまいります。担当副理事長として精一杯務めさせていただきますので、1年間どうぞよろしくお願いたします。



専務理事 恩田 紘尚

あけましておめでとうございます。本年度専務理事を務めさせていただきます恩田紘尚と申します。事務局の長として組織を下支えするとともに、地域と多治見青年会議所がお互いに発展するような関係になることができる組織運営を心がけてまいります。歴史ある多治見青年会議所の専務理事という新しい修練の場を与えていただいたことに心から感謝し、1年間全力を尽くす所存でございます。どうぞよろしくお願申し上げます。

委員長紹介



総務・渉外委員会  
委員長 加藤大輔

新年あけましておめでとうございます。総務・渉外委員会では組織力を高め、運動の「輪」を広げてまいります。そのためにはメンバー間個々の「和」を育み、先輩諸兄、他 LOM、南元JCとの交流を通じて多くのことを学んでまいります。また広報メディアを積極的に活用し多治見青年会議所の魅力を地域社会へ発信してまいります。



挑戦する人材育成委員会  
委員長 加藤聖規

新年あけましておめでとうございます。挑戦する人材育成委員会では、JAYCEEとしてのあるべき姿を自覚し、使命感を再認識することで会員意識高揚を図ります。そして前向きな行動を起こし、どんな困難に直面しても次の行動につなげることで、挑戦できる人材へと昇華してまいります。何事にも立ち向かい挑戦できる人材となった我々が、周囲の人々を牽引するリーダーとしてこのまちの未来を切り開いてまいります。



生き抜く力育成委員会  
委員長 鈴木亜紀子

新年あけましておめでとうございます。生き抜く力育成委員会では、子どもたちがこれからの人生を力強く生き抜いていくために必要な力を、自ら問題解決する力と捉え、子どもたちの考える力とやり遂げる力を育みます。子どもたちを自らたくましく未来を切り開いていく人財へと導いていくことで、活力あるまちの創造へと繋げてまいります。

新入会員紹介



土井自動車販売(株)  
土井 健至



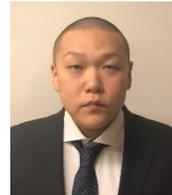
石政佐藤石材(有)  
佐藤 裕基



(株)協和義肢製作所  
稲垣 豪記



(株)加藤組  
加藤 賀裕



(宗)溪雲寺  
河人 宗泰



(株)吉川組  
吉川 晃蔵

出向者紹介

(公社)日本青年会議所出向者  
国際ビジネス連携委員会

委員 虎山宗哲

(公社)日本青年会議所東海地区協議会出向者

社会基盤推進委員会 委員 加藤大輔  
東海フォーラム実行委員会 副委員長 水野恵介  
東海フォーラム実行委員会 委員 小澤全和  
東海フォーラム実行委員会 委員 久野元騎  
東海フォーラム実行委員会 委員 小境邦裕  
東海フォーラム実行委員会 委員 滝 文謙  
東海フォーラム実行委員会 委員 長尾有祐  
東海フォーラム実行委員会 委員 吉田企貴  
第46回JC青年の船「とうかい号」国際交流委員会 委員 虎山宗哲  
第46回JC青年の船「とうかい号」生活委員会 委員 丹羽亮介

(公社)日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会出向

監査担当役員 小境邦裕  
委員 日下部里奈  
委員 坂崎雄介  
委員 虎山宗哲  
委員 丹羽亮介  
委員 佐藤信行

日本青年会議所業種別部会業業部会出向者

業業部会 監事 牧田充広  
業業部会 常任委員 吉田企貴



第46回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集のご案内

第46回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集を行なっております。対象者は原則として多治見市に在住または勤務する年齢20歳からおおむね35歳までの男女、募集期限を2019年2月末までとさせていただきます。本年度は「誰もが挑戦出来る輝く東海実現~One Tokai への航海(たび)~」をスローガンとし2019年6月2日(日)から6月8日(土)までの7日間をかけて台湾に向けて出航します。多治見青年会議所として乗船者に研修を通じて学んだことを職場・地域等で活かすことができるよう、支援してまいりますので是非ともよろしくお願申し上げます。

とうかい号  
第46回 JC青年の船